



## 永遠に栄えある白陵

### 平成十六年版白陵会名簿 十二月下旬発刊

前回の同窓会名簿は今から七年前の平成九年に発行しましたが、その後、会員諸氏の住所も大きく変動しています。

既にお手許へ名簿発行用の「調査カード」をお届けし、購入予約の受付や賛助広告の募集を行っておりますが、今回の名簿作成にあたっては、事務処理から印刷・発送までを名簿作成専門会社である(株)サラト(本社姫路市)に依頼しました。会員数も六千六百名余を数える大所帯となり、日本各地は勿論のこと遠く海外で活躍中の会員も見受けられる昨今、従来の手作り作業で正確な名簿を作成することは極めて困難と予想されたので、専門会社のノウハウを取り入れ可能な限り詳細で正確な同窓会名簿を作成する計画を立てました。本部所蔵の原簿に加え、各期、各クラブ、各地域、各職域等の各類の名簿を取り寄せて現在判明している同窓生全員に調査カードを送付し、本人に関する事項の検閲を依頼すると共に、同期生に不明者の情報提供を依頼し新たに判明した方には再度連絡を取って原稿の作成を進めております。

母校は創立40周年を経ていよいよ発展の一途を辿り、卒業生が各方面で大車輪の活躍を続けておられることは誠に頼もしく嬉しい限りですが、分散しつつある会員の住所を正確に把握し定期的に名簿を発刊することは同窓会の使命であると考えています。卒業生の活躍する姿を母校の歴史と共に永遠に刻み続けてゆくために会員の皆様のより一層のご協力をお願いいたします。



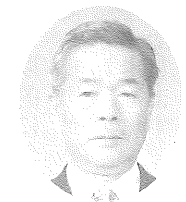
## 一喜一憂 ―ご挨拶にかえて―

理事長 三木 一正

うだる様な暑さの中、創設者三木省吾先生の命日にあたる七月十五日、わが白陵野球部は地元高砂球場において、全国高校野球兵庫大会に出場、来年から一本化する武庫荘・武庫荘総合の合同チームと対戦、二回の表に、挙四点を取られながらも四、五回に二点宛を取り返すが、敵もさるもの六回に二点を追加、しかしわが方もその裏大量得点、六対五、二時は逆転、あややと思われたのもつかの間、七回表に再び五点を取られて勝負あつた。終わつてみれば六対十と敗れてしまいました。わが応援団は最後迄礼儀正しく相手チームにエールを送り球場をあとにしたのです。何故野球のことをこれ程までに書くかというと、実はこの原稿の提出期限には野球はまだ終わつておらず、学園長の命日に出場のスケジュールだけを元に予想記事として故学園長の魂がベンチ入りして勝利するという筋書きだったため、編集子が大慌て、いまや当の本人の私が書き直しし目を白黒させているところです。それにしても、今白陵高三の一人がドイツのキールで開かれている国際化学オリンピックの日本代表四人のうちの一人に選ばれて、世界の舞台に挑戦しています。健闘を祈っていますが、また予定原稿にならぬよう紹介に留めることにします。

最近、新聞のコラム「学校と私」欄に『世に学園長より怖いものなし』と題する一文を載せたのは十五期生の不肖宮嶋こと宮嶋茂樹氏ですが、やはり恐いと言えば、これ又超こわいで有名だった柔道の藤田家将先生（兵庫県柔道連盟会長）もこの三月で退職、当初の卒業生諸君からすれば懐かしい恩師の顔が見られなくなるのはとても寂しいことかもしれません。その一方で、白陵生え抜きの校長、教頭が誕生しました。吉田卓校長（物理）川副義文教頭（保体二期生）が浅江季典校長のあとを受けての登場です。加えて副校長に齋藤興哉先生（前神戸高校校長・公立校長会会長）の陣容でのトロイカ方式による新しい白陵を見て下さい。決して平坦な道ではありませんが、今春の大学進学でも別項の通り全国区にランクされるまでになりました。文字通り「喜憂」ですが、一歩一歩前進していきたいと思えます。

最後になりましたが、卒業生諸兄姉のご健勝とご多幸を祈念し、変わらぬご支援ご鞭撻をお願い申し上げます、ご挨拶といたします。



## 退任のご挨拶

前校長 浅江 季典

白陵会の会員各位にはますます御健勝のことと拝察し、心からお慶び申し上げます。

さて、私は平成16年3月末日をもって、白陵中、高等学校の校長を退任いたしました。6カ年間の在任中には白陵40周年記念棟建設を初め各方面において、白陵会の皆様から惜しみない御支援を賜り心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

私事で恐縮ですが、6月末の10日間、妻と2人イタリアを訪問いたしました。中学生の頃に初めて教科書で知つてから、是非一度は原画を見たいと願っていた2枚の壁画を鑑賞してまいりました。

その一つは、修復が終わり最近公開されるようになった、システイナ礼拝堂（白陵の記念棟と、ほぼ同じ面積）のミケランジェロの『最後の審判』であります。左側が天国、右側が地獄を現していますが、天国は大変大勢の人が描かれ人口過密ですが妙なる楽の音が流れ、束縛がない社会と表現されています。人口稠密で衣食住を心配する人が極端に少なく、13,000曲が入るパーソナルな音楽再生装置が比較的安価な価格で販売されている日本の現状は、ミケランジェロの描く天国と現代日本とは類似点が多いと感じながら鑑賞いたしました。

もう一つは、ミラノのダ・ビンチの『最後の晩餐』であります。私たちが今まで目にした絵は「こつてり」した色の濃いものでしたが、過去の修復の色を落としてダ・ビンチ時代に戻したものは、どちらかと言えば水彩に近い淡白な色調に驚きました。

ミケランジェロ、ダ・ビンチという2人の天才芸術家の傑作に直接触れ感動いたしました。英語の『傑作』即ち masterpiece と言う語には、現代使われている意味と異なる意味もあります。それはギルド制度の下で徒弟が親方から独立する時に制作した作品を意味し、現代風に言うならば卒業制作、卒業論文に当たるものであります。親方の徒弟の指導の仕方は、各生徒の進路に応じて徹底して必要な知識、技能を身につけさせ、個々の生徒の個性を豊かに発揮させる基礎を修得させる白陵の英才教育と共通している点が多いと思ひ、これらの絵画を見ながら白陵の英才教育の時代や空間を超えた普遍性を強く感じた旅でもありました。

最後になりましたが、白陵会の皆様がそれぞれの人生に於いて、何かの masterpiece を手にされるように祈念しながら退任に際してのご挨拶といたします。



### 就任のご挨拶

校長 吉田 卓

盛夏の日々、厳しい暑さの毎日を迎えています。白陵会会員の皆様には、益々御健勝の事と存じ上げます。

白陵会の皆様には初めて御挨拶申し上げますが、私、理事会より指名を受け、4月1日付で白陵中学校・高等学校の校長に就任いたしました。行政経験も豊富なベテラン校長の浅江先生の後任として、不安を持ちながらのスタートでしたが、瞬く間の一学期であつたように思います。

昭和47年、大学卒業後すぐに理科教師として着任し、以来32年間現場教師として、白陵一筋で来ました。今日の日本社会の中で何かと問題視されている団塊の世代です。始めの10年は亡き園長先生の厳しい指導の下で経験を積むことができた事は、私の教師生活の大きな礎となっています。また、当時は山のように大きく見えた園長先生より年上になつてしまつた自分を振り返つて見て、誠に不思議な感じを抱いています。

さて、我が白陵は2年前(平成14年)には創立40周年を迎え、新たな歴史へのスタートを切りましたが、幸先よく、今春の大学入試では現役の国公立大学合格率は70パーセントを超えるなど、史上最高の実績を上げることができました。この結果は偶発的なものではなく、具体的な数字が得られない中、悩み苦しみながら協力と工夫の積み重ねがはじけたものだと思っています。今必要な事は、結果が出た喜びに流されるのではなく、教訓を抽出し、具体的な形として下学年へ伝えてゆく事です。

皆様既に御承知のように、白陵は旧制姫路高校のあり方をその基本精神とし、「教養と節度」をモットーとします。つまり、日々の学校生活の中で、学問に対する、真理追求に対する強い志と、真摯な態度が育まれる事が課題であり、そのあらわれが大学入試の結果となるのが、白陵の求める所です。大学進学成果を求める姿勢と、学問に対する真摯な態度が、白陵の中では対立的に存在するのではなく、お互いに正方向の刺激を与えあう学校生活の中における基本要因として存在し続けるよう、教職員全員の連携をはかりながら生徒達に対してゆきたいと願っています。浅学非才の私ですが、斎藤興哉副校長、川副義文教頭という二人の力強い助けを得て、精一杯の努力をする所存であります。白陵会会員の皆様には力強く、あたたかい御指導とご協力をお願い申し上げます。



### 大変なことに……

教頭 川副 義文

盛夏の頃を迎えましたが、皆様方には益々ご清祥ご活躍のことと拝察し心からお慶び申し上げます。

小生白陵での教員生活、今年で34年目に入り、体育の教師として授業部活や生徒指導を中心に自分なりのライフスタイルを貫いてまいりましたが、今春突然教頭職を命じられ今までと全く違う様な教員生活をせざるを得ない事になりました。思えば、白陵の「教頭」といえば、人格者の初代川戸先生に始まり、輝かしい教師実績を持つておられた山本(武)先生、吉岡先生、そして学者肌で厳格な濱田先生、誰からも好かれ、人間味豊かな前任の中山先生と、それぞれがそのすごい能力で学校内部を統括された方々ばかりです。そういう業務を本当に自分ごときが引き継いでゆけるのかと苦悩しながら4月から日々、黙々と諸務をこなし長い長い一日を過すうち、早一学期が終えようとしています。さて、今年度は、学校説明会に行く機会も増えましたが、どの会場でも白陵に対する関心・評価が高まっているのを感じました。とりわけ進学指導はもちろんですが、白陵の生活指導にも注目されている様です。高度経済成長時代が終り、家庭を含め地域共同体の結束が弱まり、大人の社会からは共通の価値観が失なわれつつ有り、個人を絶対視し、やさしいものの判りの良い親が求められ、さらに学校は個性尊重・自由・人権第一という考え方によつて揺さぶられ、自由・ノビノビ・ゆとり路線がもてはやされ、校則や管理教育が批判の対象とされる時代にあつて子供の学校での躾教育というのは大変困難になっています。だからあえて困難な躾教育(基本的生活習慣)の指導に創設期より手法は変えながらも重点を置いてきた白陵の教育実績が新鮮で頼もしくうつるのかも知れませんが、これが時代に媚びず、流されず終始一貫創立の理念を守り続けてきた校訓にも謳っているまさに白陵の「独立不羈」の精神ではないかと思えます。

今春すばらしい成績を残し39回生が卒業しましたが、これで57才から18才までの6620名の卒業生を世に送り出している学校になりました。そして今年度上半期だけで新聞や雑誌に私が知る限りだけでも様々な分野で活躍している7名の方が紹介されています。その他にも「研究と訓練」によつて得た「独立不羈」の理念、又それに裏付けられた自信でもつて、「正明闊達」の姿勢を保ち社会で活躍されている方々も多数おられます。世は「成長」の時代から「成熟」の時代へと移行したといいますが、白陵は成長を続けながらも成熟してきていると言えるのではないのでしょうか。小生も与えられた使命に対し、皆様方に負けない様努力するつもりですので何卒、御支援・御指導を宜しくお願い申し上げます。



更なる飛躍を願う

白陵会会長 沼田 好道

夏真っ盛りとなり夏祭りや花火大会で賑わっていますが、会員の皆様方にはますますご隆昌のこととお慶び申し上げます。平素は本会活動にご協力を賜り誠にありがとうございます。

母校は今春の大学入試において鮮やかな大躍進を遂げました。東大現役合格力全国11位、(女子だけに限ると全国3位)、国公立大医学部合格力全国4位、等々、週刊誌上を白陵の校名が躍動しました。

この数年、好成績を残してはいたものの期待した成績には今一歩の感があっただけに、今春の成績はその重苦しかった雰囲気を一気に払拭したものとなりました。浅江前校長の花道を飾り、吉田新校長の門出を祝うに相応しい輝かしい成果であったと思います。浅江先生は引き続き理事として学園に残られますが、6年間にわたり顧問として本会の活動にお力添え頂き大変お世話になりました。また、新任の吉田校長は白陵生え抜きの新しい世代の校長として、斎藤副校長と2期生の川副教頭と力をあわせ、50周年に向けて更なる飛躍を遂げられますよう祈念申し上げます。

さて、同窓会活動の原点とも云うべき名簿作成ですが、ご案内の通り今回から専門業者に依頼しました。しかし、会員の皆様のご協力が最大唯一の拠り所であることに変わりはありません。調査カードへのご協力や、住所不明者の情報提供、協賛広告など、会員の皆様方より倍旧の温かいご支援を賜っておりますことに心より厚く御礼申し上げます。12月の完成の暁には、会員の皆様方のご活躍振りが新しい名簿で拝見できると今から大いに楽しみにしております。引き続き宜しくご協力賜りますようお願い申し上げます。

国内外共に世情不安定で不透明な時代ですが、白陵時代に培った高い倫理観や強い責任感、勇猛心が我々自身を守ってくれているのではないのでしょうか。そして、我々卒業生1人1人の存在が白陵の伝統と校風を確立させてゆくのだと思います。会員の皆様方におかれましては自己に更に磨きをかけられ、それぞれの分野で二層のご活躍をされますようお祈り申し上げます。

白陵会役員名簿

平成16年7月3日現在

Table with 10 columns: Role (役名), Term (期), Name (氏名), Role (役名), Term (期), Name (氏名), Role (役名), Term (期), Name (氏名). Lists various board members and their terms.

平成16年 大学入学試験合格者数

国公立大学			
大学名	14年	15年	16年
東京大	29	23	32
京都大	23	12	24
大阪大	33	22	28
神戸大	11	16	21
北海道大	3	3	6
東北大	2	1	2
一橋大	7	3	5
筑波大	1	1	1
東京工業大	2	2	
横浜国大	2	4	2
岡山大	6	7	18
広島大	2	3	2
九州大	2		1
大阪市大	1	7	4
大阪府大	5	7	9
その他	40	48	63
合格者計	169	159	218
(内医学部医学科)	(23)	(26)	(42)

私立大学			
大学名	14年	15年	16年
早稲田大	31	34	33
慶応大	37	25	42
上智大	1	1	1
中央大	5	10	16
東京理大	9	7	9
関西学院大	34	25	30
関西大	5	11	16
同志社大	20	20	23
立命館大	20	26	38
近畿大	3	5	4
大阪医大	5	1	2
兵庫医大	6		2
京都薬大	2	2	2
神戸薬大	3	3	6
その他	28	44	48
合格者計	209	214	272
(内医学部医学科)	(21)	(11)	(10)
卒業生数	183	183	184

追悼



初代教頭 川戸 茂先生

川戸茂先生が本年6月9日、老衰のため93歳で逝去されました。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

先生は白陵創立と同時に初代教頭として京都府教育委員会から本校に招かれ、故三木省吾園長先生を補佐され草創期の学校作りにも多大の功績を残されました。また、保健体育教師として、寮監長として、多くの卒業生に温かいご指導を賜りました。

先生のご訃報に接し、新任当時に先生の薫陶を受けられた旧職員の赤松初夫先生に追悼文をお願いしました。

「川戸先生大往生」に想う 旧職員 赤松 初夫

川戸先生の訃報に接したとき、畏敬と感謝の念を覚えずにはおれなかった。寂しさは感じない。それを許さぬ優しさや冷厳さを備えたお人柄の先生だった。

1963年、白陵開校と同時に、先生は教頭として赴任。生徒指導はもちろん、大学卒業したばかりの経験の浅い若い教師集団の育成に尽力し、教師としてはまだ未熟だった園長先生(創設者三木省吾)を補佐し、誕生したばかりの白陵を必死で支えた。揺籃期の苦しい10年間、先生は文字通り身を挺して八面六臂の活躍で、今ある白陵中学・高等学校の礎を築かれた。

65年、私は寮監兼務で赴任した。寮監長兼務の川戸先生の指導を受けながら同じ釜の飯を食うという幸運に恵まれた。同年秋、大型台風が白陵を直撃。休業。寮生は全員寮内で恐ろしい一日を過ごすという羽目に陥った。屋根瓦が飛散し、窓ガラスがおびただしく割れた。二階のほとんどの寮室の窓ガラスの破片がベッドや床のタイルに突き刺さっているのを見て慄然とした。いち早く寮生を階下に降ろして大惨事から救った先生のとさの機転に、私は畏敬の念を覚えたものだった。

先生は、「創立十年という節目に、後進に道を譲る」とさっぱりと退職されたかと思うと、朝日新聞京都版の俳句の選者となられ俳人としてご自分の人生に有終の美を添えられた。そして、茜雲の向こうの水平線に静かに沈む美しい夕日のように、当然のごとく歿したのだった。

天国に召された川戸先生、園長先生とお二人で、下界の白陵を見ていかなる感慨を持たれていることだろう。

合掌

## 藤田家将先生御退職記念・兵庫県体育功労賞受賞 祝賀パーティー



40年の長きに亘って白陵に在職された藤田家将先生が本年3月31日をもって退職されました。藤田先生といえは、時に厳しく、時に理不尽に、時に肉体的なご指導で全白陵生の心と体に深く感銘を刻んだ熱血先生でした。

その先生の御勇退を慎んで祝すとともに「兵庫県教育功労賞」に続き本年受賞された「兵庫県体育功労賞」を祝し、さらに「2006年兵庫国体」の推進を担われる先生を激励しようと5月8日、ポートピアホテルにて御退職記念パーティーが開催されました。

このパーティーは白陵高校柔道部OB会が主催し、兵庫県柔道連盟、兵庫県高校体育連盟柔道部委員会及び高砂柔道協会のご代表が発起人に名を連ね、県内の柔道関係者約200名が集結した盛大なパーティーとなりました。白陵からも、三木理事長、吉田校長はじめ、旧・現先生方、沼田白陵会会長、湖中・天野同副会長、現役高三生、ご父兄等多くのご出席をいただき、大いにパーティーを盛り上げていただきました。

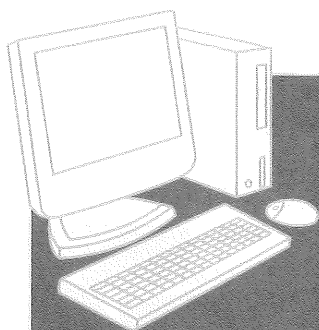
藤田先生の白陵最後のパーティーであること、出席いただくのが錚々たる方々であるということから、決してしくじれない、粗相を犯せないとの極度のプレッシャーのなか準備を進めて参りましたが、バイキング形式の食事があつという間に無くなったこと以外(さすが柔道関係者、食べる食べる!)目立った不都合もなく、円満な(これが一番!)雰囲気なかパーティーを終えることができました。

引き続き同ホテル内での二次会にも80名を超す方々に参加頂き、先生の天理大学の御友人より「白陵柔道部の唄」を頂戴したり(爆笑しました)がどんな唄だったかもう覚えていません)、全員で「白陵歌」を合唱したり(歌詞を知っていたのは4、5人でしたが)、延々延々と盛り上がり続けました。藤田家将先生から「生涯で一番楽しいパーティーだった」とスピーチで言って頂いたのが何よりの喜びでありました。

自他ともに認める天上天下唯我独尊・法即ち自分の藤田先生が白陵人生をこのように多くの方々々に祝福され幸せに終えられるのを目の当たりにし、自らの生き方を考え直す報告者でありました。:

なお、先生は現在「姫路獨協大学柔道部師範」の傍ら兵庫県柔道界の指導者として益々活躍中であります。ほんと、いつまでもお元気です!





## 完成から丸1年 パワーアップしました 「白陵会ホームページ」を ぜひ一度ご覧になって下さい！

※「白陵会」で検索すると、たどり着けるはずですよ <http://www.dosokai.ne.jp/hakuryokai/>

その1

懐かしい「白陵校歌」「白陵応援歌」「白陵寮歌」のメロディーが、ネット上から聴けるようになりました！

その2

「同窓生コーナー」の「フリー掲示板」は、登録なしに、どなたでもすぐに書き込みできるようになりました！

その3

「理事役員掲示板」を設け、理事役員間での意見交換が、ホームページ上で可能となりました！

その4

「恩師は今」「活躍中の同窓生」「部活動のページ」「同期会報告」など、内容充実・更新しています！

その5

今後、強力なスタッフを得て、改良・改善を重ね、どんどんバージョンアップしていきます！

## そこで、白陵同窓生の皆様に「7つのお願い」です！

その1 まずトップページを「お気に入り」に追加して下さい。

その2 感想でも何でも、一言でも結構です。ご遠慮なく書き込みして下さい。

その3 同期会の開催予定等のある方は、ぜひとも書き込んで下さい。

その4 「恩師は今」「活躍中の同窓生」など掲載を希望される方を、リクエスト下さい。

その5 個人や会社のホームページを持っておられる方は、リンクさせて下さい。

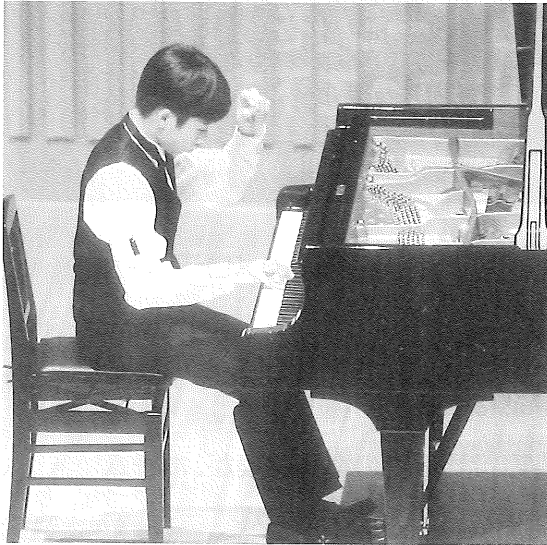
その6 月に1回は、更新や新たな書き込みがないか、見に来て下さい。

その7 このホームページが長続きするよう、温かい心で応援して下さい。

よろしくお願い致します。

# 活躍する在校生の紹介

## 高校生ピアニスト 高1 鯛中 卓也君



今年8月にドイツで開催される「エトリゲン国際ピアノコンペティション」に、高校一年生の鯛中卓也君が出場することになりました。鯛中君は3歳の頃から鍵盤に親しみ、6歳の時、市内の音楽教室で本格的にピアノを習い始めました。2000年県学生ピアノコンクールで優秀賞を受賞。2002年のピティナ・ピアノコンペティションで、西日本E級地区本選会で優勝し全国大会に出場。ソロ部門E級(高一以下)で約1000名が参加する中で準優勝、同時にロイズ賞を受賞しました。ピティナ・ピアノコンペティションで過去の上位入賞者の中には、現在国際的なピアニストとして活躍している人も多数います。

今は、ピアノの英才教育を受けた少年少女が世界中から集まる「エトリゲン国際ピアノコンペティション」の十五歳以下の部に向け1日3時間の猛練習に励んでいます。

7月中旬にはドイツへのリハーサルも兼ねて明石市内の会館で演奏会が実施され、コンペティションで披露するバッハの「平均律」やラフマニノフの「ソナタ二番」を演奏しました。

鯛中君の国際舞台での健闘と今後の活躍を期待したいと思います。

## 化学者の卵 高3 神戸 徹也君



毎年全国の高校生を対象に、化学の実力を競い合う「全国高校化学グランプリ」が開催され、本校からも多数の生徒が会場へ出場し、過去にグランプリを獲得した卒業生もいました。

昨年、一〇〇〇名を超える参加者が受験化学を超えた大学教養レベルの一次選考(筆記試験)に挑戦し、合格した六〇名が薄層クロマトグラフィーを使って反応の進行具合を分析する実験を行いレポートする二次選考に臨みました。その結果、銀賞を受賞した現在高校三年生の神戸徹也君が、七月十八日(二十七日までドイツ・キールで開催された第三十六回国際化学オリンピック)に日本代表生徒四名の一人に選ばれて出場しました。本番では世界六十一カ国から二三四人の化学者の卵が集まり、理論と実験の試験は一〇時間にも及びました。

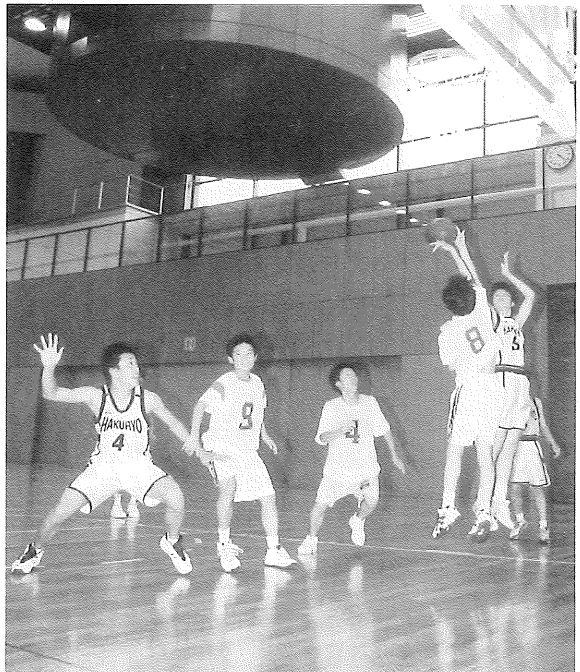
「難問に直面してもとことん考え抜く粘り強さ」が神戸君の持ち味と評価する顧問の谷川先生。その持ち味を十分に発揮して銅メダルを獲得しました。世界でも十分通用することが証明されたのではと思います。将来は化学者という夢を持っています。ノーベル賞を受賞する化学者になってくれることを期待したいと思います。

銅メダル獲得おめでとう!!



# 在校生クラブ活動紹介

## バスケットボール部



僕たちバスケットボール部は高校部は打浪先生、中学部は西尾先生、山岡先生の御指導のもと日々練習に励んでいます。数年前までは旧体育館でしか練習できず、その上他のクラブとの併用もあり、決して環境がよいとは言いきれませんでした。そんな中、記念棟ができ、のびのびと練習ができるようになりましたが、やはりそれだけでは激戦区の東播地区で勝ち残るのは難しく、目立った成績は残せず伸び悩んでいました。それでも僕達は少ない練習時間の中、自主的にメニューを組み、作戦を立て、県大会出場を目指して毎日汗を流してきました。

この努力が実を結んだのか昨年の高砂市民大会では見事優勝を果たし、明るい兆しが見えてきました。勉強においても良い成績を残している先輩も少なくなく、まさに文武両道の言葉の通りのように思います。今後より一層の活躍をお知らせできるように僕たちはがんばりたいと思います。

## 生物部



現在生物部には40人近くの部員が在籍し、西口先生・中垣先生の御指導のもと、毎日生物室を拠点として活動しています。主な活動としては、魚やクワガタの飼育観察・校内の植生調査などの多岐に渡る研究を行っています。また校外での活動としては、加古川上・中・下流域の定期的な水質調査や、日本海の生物を調べる3泊4日の夏合宿などを行っています。加古川調査では、生息する水生昆虫と魚の種類及び個体数、市販の器具を用いて川の水の科学的データを集め、加古川の水質の変化を長期に渡り調べています。

文化祭での展示を1年間の主な研究発表の場とし、部員一同全力を尽くしていますので、是非文化祭では生物部にお立ち寄り下さい。

白陵会 平成15年度収支決算報告書平成15年4月1日~平成16年3月31日

Table with 4 columns: 科目, 予算額, 決算額, 差異. Rows include 事務費支出, 会議費支出, 事業費支出, 備品費支出, etc.

Table with 4 columns: 科目, 予算額, 決算額, 差異. Rows include 前年度繰越金, 会費収入, 会費外収入, etc.

白陵会 平成15年度 会務報告

Table with 2 columns: 年月日, 内容. Rows include 15.5.20 理事会, 15.6.23 臨時理事会, etc.

白陵会ニュース

★平成十六年版 白陵会名簿の内容

発行日 平成十六年十一月十五日
収録者 恩師を含め二期生から三十九期生まで約六、六五〇名
掲載項目 氏名・現住所・電話・勤務先・勤務先電話・最終学歴・クラブ名

規 格 B5版 約340頁
予約頒価 三、八〇〇円(会員予約限定出版)
賛助広告(名簿二冊進呈) 広告原稿締切 十月五日

★二〇〇五年白陵会総会(USJ)
来年二〇〇五年は五年に一度の総会開催の年にあたります。
日程・場所等はこれから理事会で検討し開催要領を取りまとめる予定ですが、前回二〇〇〇年の総会以上に楽しい総会にしたいと考えております。

★秋の学校行事のご案内
懐かしの母校へ出かけてみませんか
文化祭 九月五日(日)
運動会 九月十二日(日)
入試説明会 十月二十三日(土)二十四日(日)
学校のホームページ http://www.11.ocn.ne.jp/~hakuryo/

★平成15年度退職教職員紹介
浅江 季典校長(社会) 平成10年4月~ 6年間
藤田 季典校長(体育) 昭和40年2月~ 39年2ヶ月
森本 洋先生(国語) 平成6年4月~ 10年間
佃 至啓先生(社会) 平成14年4月~ 2年間
森本 尚聖先生(体育) 平成15年9月~ 6ヶ月
中井恵子事務員(事務) 平成13年4月~ 3年間
大森 忠彦先生(数学) 昭和42年4月~昭和51年3月(白陵)
昭和51年4月~平成16年3月(岡白)

白陵会 物語者(心よりご冥福をお祈りします。)
2期生 門野博重氏 平成15年11月 逝去
10期生 藤本佳久氏 平成15年11月 逝去
川川 茂先生 平成16年6月 逝去

昭和38年初代教頭(就任、昭和43年から退職される昭和48年3月まで寮長を兼任)

第11回 りょうゆう会 ゴルフコンペのご案内

今回は2期生の安水恭徳さんのおられる名門グランドオークゴルフクラブのプレイヤーズコースにて開催します。
■平成16年11月3日(祝)文化の日
午前8:30集合・午前9:00スタート
■プレー代14,000円 ■参加費5,000円
例年多くの同窓生の方に参加頂き、盛大に開催しております。上手下手は、問いません。まだゴルフを始めて間がない方も、ぜひチャレンジして下さい!

編集後記

●今回は学校の人事異動の紹介にページを割きました。2期生の川副先生が教頭に就任されました。
●今年は2年ぶりにロンドンへの修学旅行が実施されました。生徒達も大いに楽しんできたそうです。
●中学から入学した女子1期生の大学進学実績はすこぶるかかたそうです。女子のパワーに押され気味? ●名簿作成も最後の追い込みにかかっています。住所不明になっている方の情報をぜひお寄せください。 ●名簿広告にご協力頂いた関係各位の皆様、本当にありがとうございます。
●ご予算の許す範囲でぜひよろしくお祈りします。 ●イラクから無事帰還した宮嶋茂樹氏(十五期生)は東京に続き名古屋でも写真展を開催されました。次回はぜひ地元神戸で開いてください。 ●そしたらわんさか集まると思いませんか? ●最近、白陵生の通学マナーが悪くなったと言われているです。卒業生の皆さん、街や車中でもし行儀の悪い後輩を見かけたら、すぐその場で喝してあげましょう。 ●住所変更の際は必ずお知らせください。